

11001製鉄・製鋼・圧延業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	13～14	工場酸洗い倉庫内で、酸洗いの指示があった線材を探していたところ、残材の線材を固定していた番線が足下に飛び出していたため、足を引っ掛けて肩から転倒し、肩甲骨を折った。	44	2	417	50～99
2	2019	1	16～17	海外の外注先を訪問時、H鋼の上を歩いていた際、雪が降っていたため滑って転倒し、右手首を鋼材にぶつけて骨折した。	40	2	521	10～29
3	2019	1	6～7	工場にて、溶鋼中の不純物（スラグ）を受け入れ容器（スラグパン）に、ゴミ（空ペットボトル）を燃やすため投入作業中、高温のスラグ表面を靴底で押した際、凝固面が割れて、足がスラグに落ち、右足踵甲に火傷を負った。	20	11	521	300～499
4	2019	1	12～13	工場内から製鉄鋼所内倉庫内にて、玉掛け作業をしに行く途中、倉庫内の砂利に左足を置いたときに、誤って、バランスを崩し左足首をひねり、尻もちをついてしまい左足首を負傷、左足関節を外果骨折した。	64	2	417	1～9
5	2019	1	19～20	自社工場内で鉄板にサンダーすりをしていたところ、その鉄板がずり落ちてしまい、右足の甲に落ち負傷した。	69	4	521	10～29
6	2019	1	9～10	派遣先に整備士として勤務していたとき、入社3か月頃からミスに対してリーダーと同僚の2人から暴言を浴びせられるようになり、その後エスカレートして暴言暴力が続いた。我慢して仕事を続けていたが、ある日安全靴でお尻を蹴られたことがきっかけで精神	24	90	921	50～99

				的我慢の限界に達し、その後出社できない状況となった。				
7	2019	1	16 ～ 17	事業場内にて、溶接機を2人で運搬するため持ち上げ、複数人で対応する必要があったが、2人のみで対応し、重さに耐えきれず、足が滑り転倒し、腰を負傷した。	65	2	339	10～ 29
8	2019	2	11 ～ 12	庭の樹木作業中、木が落下し腰を打撲した。	56	4	521	1～9
9	2019	2	17 ～ 18	現場で鋼材（四角格）を高速丸鋸切断機で寸法切り切断中、終わりのブザーが鳴ったので、次の鋼材に切り替えようとした折、まだ惰性で鋸刃が回っているのに気付かず、その刃で左手（左示指、中指、環指）を開放骨折、腱断裂を負った。	46	8	159	10～ 29
10	2019	2	21 ～ 22	鑄鉄機運転の作業（高炉から出た溶鉄を型に流し込み、水をかけて固める作業）を開始し、鑄鉄機西側の枯草へ溶鉄が飛沫飛散するのを同僚が目撃したため、枯草への着火がないか確認に向かった。該当する場所手前の冷却水排水升周囲が水蒸気で覆われていて足下がよく見えず、冷却水排水升に足を落とし、両手をついた際、火傷を負った。	44	11	715	300 ～ 499
11	2019	2	1 ～ 2	倉庫内にて型鋼配付け玉掛け作業にて、4段目までは地上から配付け合図を行い、5段目の配付けを4段目に上がって開始した。5段目（高さ1,990mm）の一束を配付け後、束合わせ治具を取り付けて隣のラック上に移動した後、クレーンのオペレーターが、地上に被災者が倒れているのを発見した。左側頭部・左頬・左手首を骨折し、脳内出血を起こした。	52	1	211	500 ～ 999
12	2019	3	5 ～ 6	電解洗浄設備の入側作業に従事していた際、コイルの通板中に板破断が発生した。板破断の現場を確認するため、デフレクターロールカバーの点検扉を開けたところ、板破断した鋼板の尾端が確認できたため、とっさにデフレクターロールカバーの中に立ち入り、尾端を引き上げようとした。その際、左足を滑らせて薬液	56	12	514	1000 ～ 9999

				タンク内に転落し、左腕と両足に化学熱傷を負った。				
13	2019	3	11 ～ 12	工場内にて、ホッパーを調整するチェーンブロックを操作中、スラグが引っ掛かりチェーンが停止し、思い切り引っ張った際、手が滑り、バランスを崩し転倒した。その際、右手をつき、右手親指の腱を損傷した。	47	19	211	1～9
14	2019	3	16 ～ 17	工場内で完成した製品を移動しようとストッパーを外したところ、バランスが崩れ製品が被災者の方に倒れ込んできて左足を負傷した。	50	5	911	1～9
15	2019	4	5 ～ 6	電気炉内で埋床作業（操業により損耗した電気炉の炉床を粉体の耐火物で補修する作業）中、炉壁に付着したスプラッシュ（メタルとスラグの混合物）が落下した。その際、埋床材を均す作業をしていた被災者に接触し、右股関節を脱臼し、臀部と左足に火傷を負った。	34	4	341	500 ～ 999
16	2019	4	15 ～ 16	工場内の材料置き場で、左手でリフトの手すりを握り、右足をステップに掛けてリフトに乗り込もうとした。そのとき、右足がステップから滑り、着地した際に右足首をひねり靭帯を損傷した。	25	1	222	50～ 99
17	2019	4	9 ～ 10	本社工場で、使用済みの鉄板を片付ける作業の途中、数枚を重ねて鉄製カゴへ入れる際、持ち上げた弾みで中程の1枚が滑り、頸部と接触し切傷に至った。	51	3	521	10～ 29
18	2019	4	9 ～ 10	敷地内にて、油圧ホースを外すため、鉄板を左手で開けようとした際、取っ手に皮手が引っ掛かり、抜けず、そのまま鉄板の重みで前方に1回転し転倒した。その際、左肩を強打し骨折した。	57	2	419	100 ～ 299
19	2019	5	9 ～ 10	工場内で面取り機下部の清掃中に、しゃがんだ状態から立ち上がる際に反転機の外枠に左手を添えたところ、反転機が下降した。そのとき、外枠と可動部に左手指を挟まれて裂傷を負った。	68	7	169	30～ 49
			14	炉修工事にて、作業員3名で第3転炉ガス回収設備の上流側からマンホール開作業をした。昼食後、作業を再開して共通歩廊から個				30～

20	2019	5	～ 15	別歩廊に移動した際、被災者ともう1名の作業者が何らかの理由で稼働中の第2転炉側のダクトに移動し、下流東側のマンホール開作業中に一酸化炭素中毒により死亡した。	43	12	514	49
21	2019	5	～ 15	炉修工事で、作業員3名で第3転炉ガス回収設備の上流側からマンホール開作業をした。昼食後、作業を再開して共通歩廊から個別歩廊に移動した際、被災者ともう1名の作業者が何らかの理由で稼働中の第2転炉側のダクトに移動し、下流東側のマンホール開作業中に一酸化炭素中毒により死亡した。	32	12	514	30～ 49
22	2019	5	～ 12	工場内で次の工程への準備中、傍でフォークリフトを運転し作業していた同僚が被災者に気付かずバックしてきて、被災者の右足踵部分にタイヤが乗り、右踵骨を折った。	67	6	222	1～9
23	2019	5	～ 16 17	工場にて、予熱炉下での整備中、予熱炉下配管のフラッシングの際、ボルト8本の最後の1本を緩めたとき、熱水が噴出し、熱水を浴び顔、左肩、左上腕、左腹部、左腰部、左大腿等を熱傷を負った。	27	11	341	100 ～ 299
24	2019	5	～ 6	材料台車の清掃作業終了後、台車から下りる際、はしごから左足を踏み外し、体のバランスを崩し転落し、土間に左肩を打ち、脱臼した。	33	1	371	100 ～ 299
25	2019	6	～ 11 12	被災者は、工場内の集水ピットに堆積した水砕を回収するため、タイヤショベルの運転を開始した。集水ピット内でタイヤショベルが故障して動かなくなったため、班長に報告したところ、タイヤショベルを引き上げるためバックホーを持って来るよう指示を受けた。水砕電気室にあるバックホーの鍵を取るため、大排水溝の上を移動する際、滞留している約53度の熱水が長靴に入り、両足に火傷を負った。	25	11	715	100 ～ 299
26	2019	6	～ 14 15	荷物を持ち移動中に、重ねて置いてあったアルミ材料にぶつかり崩してしまった。その際、右足小指に落ちて骨折（ヒビ）した。	19	5	521	10～ 29

27	2019	7	14 ～ 15	1号炉内北側水槽にて鑄込み終わったインゴットを水槽で冷却し、そのインゴットを上げるため、バツカンにフックを掛けるときに不注意で足を滑らせ落ちて、左足の膝下に熱傷を負った。	43	11	341	30～ 49
28	2019	7	8 ～ 9	ゴミ取り用はけをセットし直そうとしたところ、伸線機に手を巻き込まれ左手指を骨折、頭・足を強打した。	48	7	169	30～ 49
29	2019	7	10 ～ 11	工場で長時間同じ姿勢でサンダーを掛ける作業していたところ、立ち上がったときに腰に激痛があり、急性腰痛症を発症した。	69	90	911	10～ 29
30	2019	7	14 ～ 15	溶接作業中に製品を床に落とし、かがんで取り上げる際に、加工後製品を掛けておくハンガーフックに右目瞼を接触させ、結膜裂傷を負った。	57	3	391	10～ 29
31	2019	7	16 ～ 17	レール結束作業中に、バールを使用して製品を寄せ、高さ200mmのレールから検査棚に下りた際に、治具の端に足を着地させたため、左足をひねり左足小指を骨折した。	32	19	921	10～ 29
32	2019	7	10 ～ 11	班長代行指示のもと、ジェットランスで酸素パイプの切断作業をしていた。ジェットランスが短くなったため、取り外して足下に置き、切断作業の交替時に、鎮静剤の所に立てかけた。班長代理の切断作業が完了間際のため、次の作業へ移動し始めたところ、足下の杓につまずき、立てかけたジェットランスに覆いかぶさるように倒れ、右足太腿部に刺さり負傷した。	30	2	379	1000 ～ 9999
33	2019	7	20 ～ 21	高炉鑄床作業場にて、歩行中、点検口の蓋がずれ、左足が落ち、蓋の縁で股下を打ち、恥骨を折った。	29	1	418	1000 ～ 9999
34	2019	8	11 ～ 12	自動切断機で材料を切断していたとき、切粉溜まりが発生したため、電源を切って設備を停止させ、装置のカバー開口部に右手を入れて除去しようとした。その際、鋸刃に右手が接触し、薬指を	46	8	159	1000 ～ 9999

				骨折し、小指を切断した。				
35	2019	8	18	作業終了後、頭痛があり、体温測定したところ、36.5度で寒気はな かった。玄関で体調が悪くなり、ふらつき頭をぶつけ、脳震とう を負った。	23	3	419	500 ～ 999
36	2019	8	17	厚板工場のガス切断場にて、鋼板切断作業後、架台の外へ出るた め鋼板から地面に降りた際（高さ35cm）、架台を固定する浅を踏 みバランスを崩し、左肩を架台にぶつけ、左肩甲骨を折った。	46	2	417	1000 ～ 9999
37	2019	8	11	ソルトバス出側の空冷装置内に付着したソルトを水洗除去作業 後、カップを脱いだ際、カップのズボンに付いていた水洗液が左 足甲に付着して熱傷を負った。	22	12	519	500 ～ 999
38	2019	10	9	テレコンクレーンの操作中、体勢を変えたところ、バランスを崩 して足下のパレットにつまずき、後方に転倒して腰椎を圧迫骨折 した。	56	2	416	1000 ～ 9999
39	2019	10	13	会社工場にて、ベンディングロール機にてステンレス板をロール する作業を行っていたところ、手袋が巻き込まれ左手を骨折し た。	67	7	163	1～9
40	2019	12	11	炉蓋横転装置の不具合復旧のため、オーライを取ろうと台車へ足 を掛けた際、台車が動いて左足を挟まれ大腿骨を折った。	56	7	391	1000 ～ 9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。